

スマホを用いる通訳・翻訳の問題点とその発展性の実演

吉川潔 翻訳業

翻訳とは生活費を稼ぐ手段であり、機械翻訳は、ライバルでなく、サポータである

- ① はじめに
- ② スマホを用いる通訳・翻訳の実演
- ③ スマホを通訳・翻訳の問題点、防災マニュアルの多国語翻訳の体験から
- ④ スマホ通訳・翻訳の発展性の実演

市販の通訳器を試訳してみたら？ 新潟県の利用状況など

- ⑤ まとめ

- ① はじめに

- ◆ 翻訳歴： 新潟で、都内の翻訳会社や特許事務所から原稿をメールで受信し、翻訳後に返信というテレワーク（SOHO）で35年働いてきた。
- ◆ 信条： 30数年前に初期のMTを試訳した。以来、市販のMTを試訳し、メーカを訪ねて説明し、関係者に報告してきた。MT研究が現場から遊離と感るので、現場報告として役立ててほしい。

- ② スマホを用いる通訳・翻訳の実演

2-1 下記の日本語を、スマホから利用できる二つの通訳機能を用いて実演

「お早うございます」

日本語 → 英語、他の言語

2-2 「これから、私は病院に行き、その後にコンビニに行きます」

日本語 → 英語、他の言語

2-3 下記の英語を、スマホから利用できる二つの通訳機能を用いて実演

「 I am hungry 」

英語 → 日本語、他の言語

2-4 下記の中国語を、スマホから利用できる二つの通訳機能を用いて実演

「你好（ニーハオ）」 → 日本語

③ スマホ通訳・翻訳の問題点、防災マニュアルの多国語翻訳（9カ国語）の体験から

3-1 防災マニュアルの多国語翻訳の方法（例えば、日本語 → 中国語）

「風水害で犠牲になる方の多くは災害時要援護者です」

↓ 長文で難文なので、原文の趣旨を逸脱せずに簡略

「災害の犠牲者の多くは身障者です」

↓ 簡略した日本文を一つの翻訳ソフトに入力

「很多牺牲者，是残疾人」

次に、この和訳文を逆方向に和訳

インターネットから利用できる翻訳ソフトと、市販の翻訳ソフト、

合計で5社の中国語の翻訳ソフトを用いて和訳

即ち、日本語の長文 → 簡略 → (英訳) → 中国語に翻訳 → 中国語 → 日本語

5社の翻訳ソフトを用いて、日本語へ逆方向に和訳した時に、

当初の「災害の犠牲者の多くは身障者です」の意味と1社でも異なれば、不合格
日本文を更に簡略化して、上記を繰り返す。5社が、ほぼ一致すれば、(仮)合格

3-2 翻訳の正否の判定：

中国語の訳文「很多牺牲者，是残疾人」を、MTが正訳しているかどうか不明

翻訳対象の母国語の **n a t i v e** に、それぞれチェックを依頼

全て（英語、韓国、中国、ロシア、スペイン、ポルトガル、

インドネシア、ベトナム、タイ）が妥協レベルで合格 ○ という判定

3-3 多国語通訳・翻訳の問題点（防災マニュアルの多国語翻訳から感じたこと）

3-3-1 「日 → 英 → 多国語」の順で翻訳するので（但し、日韓は直接らしい）、

日英翻訳が完璧でない現状では、多国語翻訳も正確と言えない。

3-3-2 「英 → 多国語」のソフトは、大別すると2系統の感じがする

3-3-3 「日本文の簡略化」が重要であるが、長文を短文にただけで ○ にならない。

3-3-4 「避難情報」を一文とみて、「情報を避難させる」の趣旨で訳す場合もある。

3-3-5 「e v a c u a t e」避難と e v a l u a t e」評価を混同する MT があるので困った。

3-3-6 「私は病院と薬局に行く」 → 「私は病院に行く」 と 「私は薬局に行く」

のように2分して訳して、正訳を得た文例もある。

3-3-7 [am]のような短いスペルの動詞句を見落とすので [may be]と動詞句を長くした場合もある

④ スマホ通訳・翻訳の発展性の実演

4-1 市販の通訳器を試訳してみたら？

4-2 新潟県の利用状況など

⑤ まとめ

- スマホ通訳・翻訳のエンジンは、インターネットから利用できるニューラル翻訳 NMT と同じなので、その翻訳エンジンと同じ通訳・翻訳の出力文が現れ、誤訳も現れる。
- 発表者が、他の発表で説明したように、ニューラル翻訳 NMT に誤訳があるので、通訳器も誤訳に注意して利用すべきである。
- 通訳器の長所を活用すると、外国人の支援に強力なお助けマンになる。
- パソコン経由で利用する翻訳と同様に、外国人を支援する現場で試訳して発信する人が少ない。今後も、試訳で気付いたこと、役立つ書籍や資料を関係者に提供するように努める
- ニューラル翻訳を利用する通訳デバイスのさらなる進展のために、ニューラル翻訳の改造、旧来の方式、用例翻訳との組み合わせを検討してほしい。